



深志高山岳部 100周年祝う

松本で式典 OBら60人

松本深志高校山岳部 誇る部の活動を振り返り、OB会や現役部員たちの飛躍や、山に親しむ文化が地域に一層広がることを願った。OBら約60人が集い、全国屈指の歴史を

誇る部の活動を振り返り、OB会や現役部員たちの飛躍や、山に親しむ文化が地域に一層広がることを願った。深志高山岳部は、前身の旧制松本中学時代に創部された。活動記録が残る大正7(1918)年から数えて100年の今年を節目と

位置づけ、「松中・松本深志高校山岳部OB会」がさまざまな記念事業を展開している。OB会の西村清亮会長(74) 浅間温泉3 山岳部で活動した経験が人生の糧になっていることに触れ「退職後にいろいろな海外の山

に足を運び、あらためて地元の山々の良さを感じた。北アルプスの麓という恵まれた環境で部の活動が一層発展するよう支援していきたい」と語った。旧制松本中68回生で2代目OB会長を務めた西村忠彦さん(88) 蟻ヶ崎3 自由登山登山ができなかった戦時中の経験を紹介し「終戦後はとりつかれたように仲間と山に登った。自由に山登りが楽しめる環境に感謝し、

共に山に挑む仲間や自然との関わりの中で養われる力を伸ばしてほしい」と願っていた。式典に先立って公開講演会も行われ、深志高出身で山岳カメラマンとして活躍するNHK松本支局の米山悟さんが、必要最低限の装備で臨む冒険的な登山の経験について語った。

(莊 隆子)

創部100年の節目を祝う山岳部OBたち